未来へ羽ばたく会農牛を目指して！

～30ヶ月の肥育ストーリー～

福島県立会津農林高校
畜産専攻班

出品牛について

陽士（去勢）

福之姫×安福久×安福１６５の９

２３はやま２２（雌）

関平照×福之姫×芳之国

昨年度のとりくみ

会農流和牛飼育の継続

地元の酒粕をもらって餌として取り入れる

今年度の取り組み

・昨年度に引き続き、バカス、ビール粕を与え飼料の食い込みを落とさず出荷まで肥育すること。

・度重なる飼育環境の変化に対応できるようにしたり、またストレスをなるべく与えないように飼育環境を整えること。

・病気や牛の臨終から得たことを次世代の教訓に活かすこと。

1. ビール粕、バカスの給餌

会農独自の給餌方法で肥育後期まで餌の食い込みを落とさないよう**ビール粕**、**バカス**を与えることで次のような効果がある

⇒食欲低下を防ぐ、反すうの促進、産業廃棄物の有効的な再利用、環境配慮

※**ビール粕**…ビールの原料である麦芽から糖分を抽出した時に残る麦芽の粕。

多くの場合、廃棄される。

※**バ カ ス**…産業廃棄物

バカスの効果

バカスは場合によって土壌改良や肥料として使われる場合、アルカリ性となることがある。

ルーメンアシドーシスは肥育後期にルーメンが酸性になることが原因でありバカスのもつアルカリ性で少しでも中和をする役割を持つ。

和牛甲子園　優秀賞！

第７回和牛甲子園

枝肉評価部門 優秀賞を獲得！

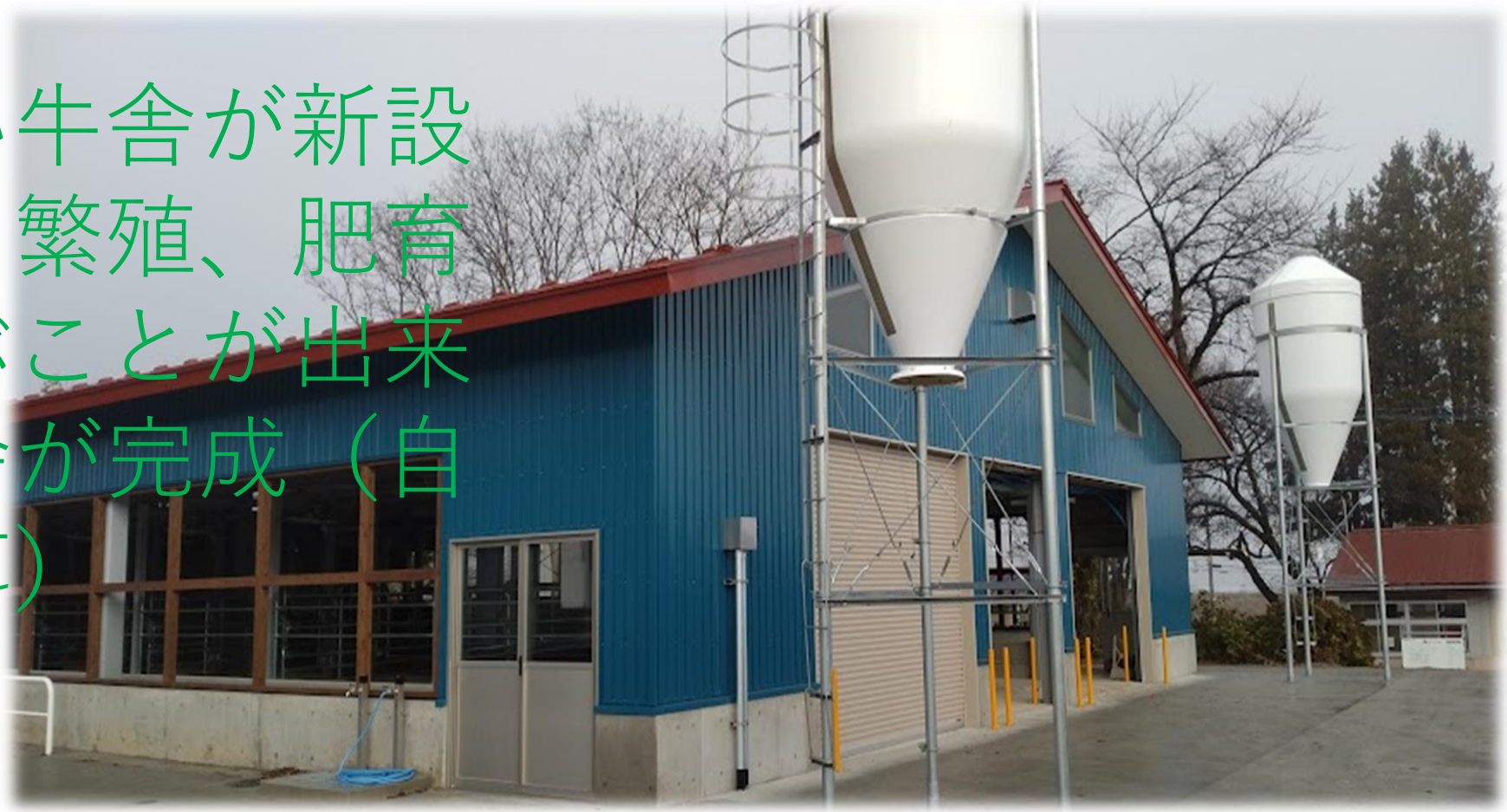
令和６年１月18日・19日開催

体重測定　陽土♂

*

２　環境の変化に対応させる

新しい牛舎が新設され、繁殖、肥育を学ぶことが出来る牛舎が完成（自動給餌）



２．牛の臨終

肥育中期に雌の肥育牛が一頭臨終してしまう事故が発生した（転倒？）

➡原因は”急性誇張症“による窒息死

♀「にこ」

肥育環境と床直しの徹底

転倒が起こらないよう床直しの回数を増やす

↓

臭いの軽減でストレス緩和

削蹄

- **削蹄を行うことで**

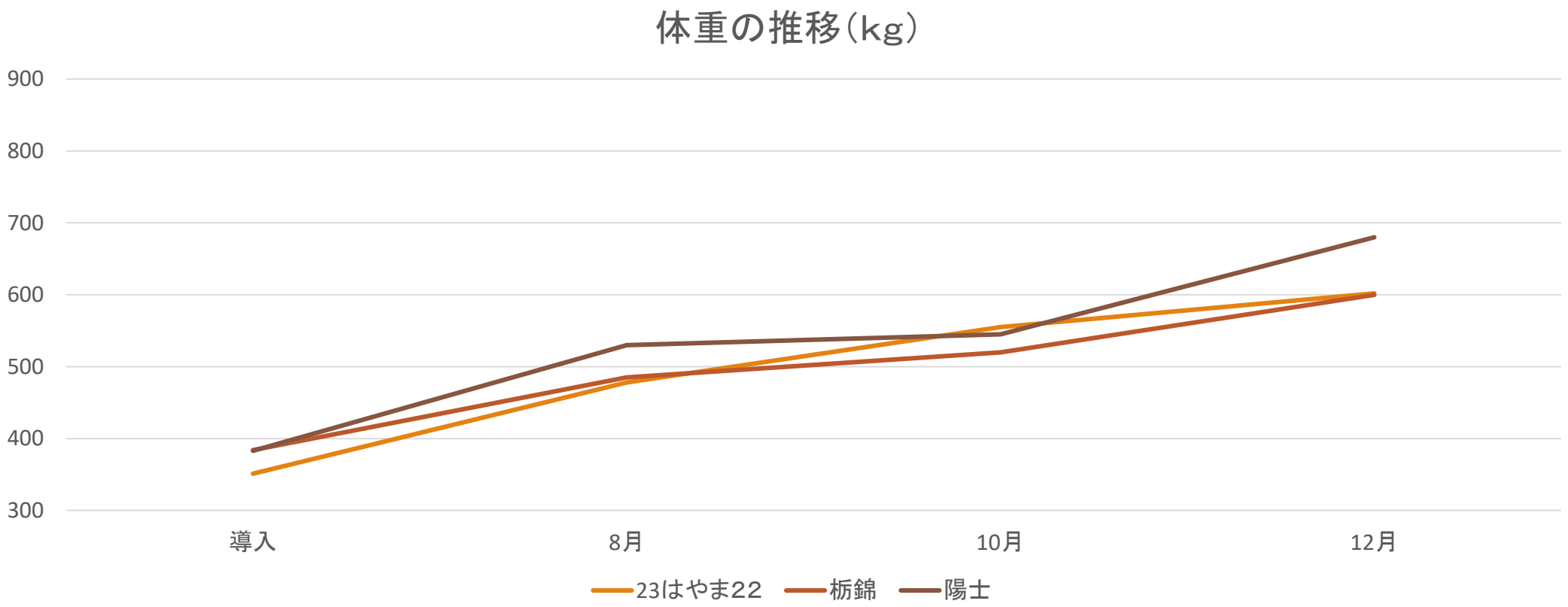
  姿勢改善、蹄の病気予防になる。

➜最終的に肉質向上を図れる

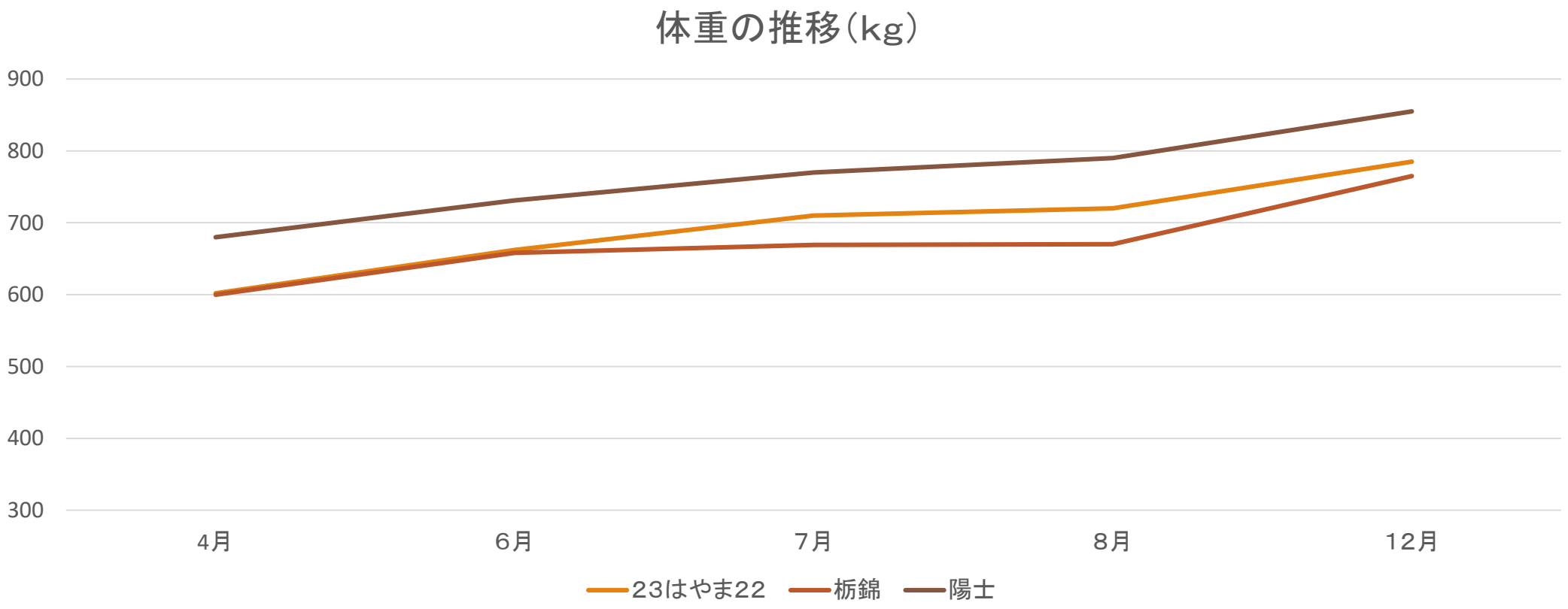
削蹄を実際に体験

目黒削蹄所さんのご指導のもと体験

【体重測定の記録】令和六年度



【体重測定の記録】令和七年度



体重の増体からの考察（雄）

雄の考察

→和牛甲子園の「**陽士**」は導入時**383kg**、12／5出荷の「**栃錦**」は導入時**384kg**であった。12／1現在の体重はそれぞれ**855kg**、**765kg**、その差**90kg**。2頭には序列がはっきりして**陽士**⇒**栃錦**への「**完全なるいじめ**」が原因だと考えられる。新牛舎に引っ越した後、単独飼いにしたら**栃錦**は食欲も増し、いきいきと生活していた。

※畜産担当の先生である木戸先生のお話…「もう少し早く、牛舎が完成していたら、このような結果にはならなかったと思う」

相棒牛「栃錦」について

12月に出荷した栃錦についてはA5の１２番の格付け

枝肉重量は少し乏しいように感じたが肉質が最上級であった。

会農流和牛飼育方法により安定生産ができた。

本大会出品の２頭も期待大

会農牛をよろしくお願いします

ご清聴ありがとうございました！